

生成 AI による映像で、思い出のシーンを再現

## 手元供養としても注目 「もう一度会いたい」



生成 AI が再現する思い出のシーンの一例。「大好きな母とハンバーグを食べた思い出」を再現。

スマホにかざし、思い出を開く「ビデオリプレイキーホルダー」は全7色から選ぶことが可能。

株式会社ブルーオーシャンスターズ（東京都足立区／代表取締役：高塩博幸）は、8月から再現ドキュメン



タリー映像「もう一度会いたい」の提供を開始した。

これは生成 AI を活用したサービスで、「ビデオリプレイキーホルダー」をスマホにかざすと再現ドラマ風の映像を再生するという仕組み。故人と遺族を結ぶパーソナル映像サービスとして、また、キーホルダーは新しいカテゴリーの手元供養品としても注目されている。

同サービスが生まれたきっかけは、空巣被害で亡き母との思い出の写真を失ってしまった人の切実な相談から。話を聞いた同社代表の高塩氏は、様々な災難（災害）が頻発する昨今、同様の体験をする人は多いのではと考え、開発に着手した。

映像・音声は AI によって生成するため、人物の特徴・その時の心情・情景など、入力する内容を細部まで充実させる必要がある。同社ではユーザーへの丁寧な取材（記憶の掘り起こし）と資料調査によって AI の能力を最大限に引き出し、通常の写真やビデオでは作り得ないクオリティで、思い出の再現シーンを実現する。

料金は、取材込みで17万6,000円（税込み）から。再生時間は1分30秒からで、長編は応相談。サンプル版は、右記 QR コードから閲覧可。

